

科目名	福祉介護概論	担当教員	齋藤 明徳 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	専門基礎科目	選択	2年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23AB	①、②、④					

科目概要	高齢者ケアをめぐって保健・医療・福祉を統合した介護保険制度の創設と発展の取り組みを知り、併せてその過程で「介護福祉」と「社会福祉援助」の専門性を確立してきた経過を理解します。また、リハビリテーションをふくむ高齢者・障がい者の医療・福祉サービスの現状を知り、ケアマネジメントの実施による高齢者・障がい者の自立を支援し、地域包括ケアシステムの実現をめざす保健・医療・福祉の連携についての理解を深めます。
学習目標	① 高齢者・障がい者ケアにおけるリハビリテーションの意義と役割を考える。 ② 他職種を理解し連携していける能力(素養)を醸成する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	介護保険制度の概要 -介護の社会化	1. 世界と日本の歴史及び日本の現状と今後の課題 2. 介護保険制度の概要と創設の経過 3. 高齢者ケアと保健・医療・福祉の統合	高齢者の保健・医療・福祉を統合して介護保険制度が創設された背景を理解する。	
2	介護保険で変わる医療と福祉-介護福祉の確立	1. 高齢者「介護」確立の挑戦 - 「社会的入院」の克服 2. 高齢者の医療・介護・福祉の制度創設・改正の推移 3. 介護サービスの基盤整備	介護の専門性を確立する経過と高齢者ケアの基盤整備の取り組みを理解する。	
3	介護福祉と介護保険サービス	1. 介護サービスの確立とその歴史 2. 介護と看護-「介護福祉士」の創設 3. 介護保険制度の発展とこれから	「介護」の歴史を知り、専門的サービスとしての変遷を理解する。	
4	介護保険サービスの利用	1. 介護保険サービスの利用方法 2. 要介護認定と居宅サービス計画 3. サービス利用支援-居宅介護支援(ケアマネジメント)	社会保険制度として創設された介護保険制度利用の体系を理解する。	
5	高齢者ケアの課題と対応-認知症ケア、リハビリテーション	1. 認知症とは-認知症ケアと地域生活支援体制づくり 2. 介護保険制度とリハビリテーション 3. 新たな高齢者リハビリテーションの在り方	高齢者ケアの重要課題を理解し、これからの地域生活支援体制づくりを学ぶ。	
6	障がい者ケアの課題と対応-自立支援、地域共生社会	1. わが国の障がい者福祉の歴史と体系 2. 障がい者関連法-共生型サービス創設 3. 社会リハビリテーション-地域共生社会の実現	障がい者福祉の体制を理解し、介護保険制度と連携した地域共生社会づくりを学ぶ。	
7	社会福祉援助(ソーシャルワーク)と保健医療福祉の連携	1. ケアマネジメントの体系と実践 2. 社会福祉援助とケアマネジメント 3. 医療・福祉の連携-医療ソーシャルワーカーの活動	社会問題の解決と利用者支援の代表的な活動である社会福祉援助を理解する。	
8	地域包括ケアと地域共生社会の実現-「2040年問題」への挑戦	1. 地域包括ケアシステムの構築 2. 地域共生社会の実現に向けた取り組み 3. 2040年への挑戦-地域福祉推進	2040年の高齢者ケア-地域包括ケアシステムと地域マネジメントの取り組みについて理解する。	
評価方法		講義出席(60%)、レポート提出(40%)で評価します。		
課題に対するフィードバック		授業をとおしてフィードバックする。		
教科図書		教員作成教材		
参考図書		各回の授業で紹介します。		

学習の準備	1 (予習) 次回のテキストの通読と用語の確認をする(90分)。 2 (復習) 講義の理解できた箇所、理解が不十分である箇所を明確にしておき、不十分である箇所は次の講義で質問できるよう準備をする(90分)。
オフィスアワー	講義の前後とする。
担当教員欄に※印を付した教員の 実務経験	